

H30年松阪駅汽笛亭廃止！

11月27日、名古屋地本は会社から「直営店舗の廃止について」の会社説明を受けました。内容は、東海鉄事内で唯一の直営店舗「松阪駅汽笛亭」を廃止するというものでした。

説明の内容

1. 直営店舗の廃止箇所

松阪駅汽笛亭

2. 実施時期

平成30年3月31日

3. 要員増減

	(職名)	(現行)	(改正)	(要員増減)
松阪駅	管理	日勤2種×1	—	△1
(松阪駅汽笛亭)	営業	変形5a×1	—	
		変形5b×1	—	△4
計				△5

【主なやりとり】

(組合) 廃止理由は何か。

(会社) 理由は直営店舗の売上高の状況、喫食サービスのあり方、社員の効率的な配置等を勘案しながら決定した。大きくは2点ある。近年、売上げが低落傾向であること。一方、立地条件は開発の余地が残されており、お客様のニーズにあった形態の新たな事業の諸準備をするにあたりこの時期が最適と判断した。

(組合) 何故、4月の経協で説明しなかったのか。

(会社) 今、まとまった話である。

(組合) いつ頃から考えていたのか。

(会社) 極最近である。できるだけ早くと考え今日になった。

(組合) 売上げが低落傾向とはどれくらい低落したのか。

(会社) 同営業形態のH19年度の比較で3割減である。その状況が続いている。

(組合) 会社として、営業努力はしてきたのか。放置してきていないのか。

(会社) これといったものは無かった。

(組合)直営はここ1店舗だがお客様のニーズに合わせたものとはどう考えているのか。
(会社)関係部署が考えている。今日は説明できない。
(組合)直営店舗ではなくなるのか。
(会社)そうである。
(組合)障害があつたり医適で就労できない社員の働く場についてどのように考えているのか。
(会社)ハンディキャップを持った人も多方面で働いている。
(組合)何処で働いているのか。
(会社)駅で働いている。活用できる場所も考えていく。
(組合)今、汽笛亭で働いている方はハンディを持っているわけではない。会社の都合により配置されてきた。現在、運輸営業職場では4年も5年も出向へ出る社員はほぼいない中、出向へ出すという話にはならない。もしそうであれば組合差別以外のなにものでもない。
(会社)適材適所に会社が判断して配置する。
(組合)旅を求めるお客様もいる。移動のみのお客様だけになる。汽笛亭ファンもいる。営利だけ求める会社になってしまうでないのか。
(会社)いろんな考えの方はいる。民間企業ですから営利は求める。
(組合)説明は聞いた。検討してあらためて申し入れする。

以 上